

## 2024年10月20日（日） 新ハイキング～紫式部ゆかりの石山寺～

今年のハイキングも、それまでの夏を思わせる暑さや前日の雨から一転し、青空が広がる爽やかな気持ちのよいお天気となりました。

今年も皆様のご精進のおかげと感謝しています。

10時30分、京阪石山寺駅前に集合しハイキングのスタートです。

石山寺駅は紫式部にあやかり紫にお色直しをしていました。



徒歩10分余りで石山寺山門前到着。観光ボランティアさんにご挨拶。

観光ボランティアさんはベテランの方で、その説明には皆お話に取り込まれ「なるほど」と肯くことばかりの楽しい一日となりました。

東大門（山門）は鎌倉時代に建築され、両脇の仁王像は運慶とその息子湛慶の作で重要文化財です。なぜ淀殿が修理をしたと分かるのか。それは山門屋根の横壁に豊臣の紋があるからだそうです。

門を入ると左に「公風公園」があり、ここは「きをつけてみてください」との説明。

「木を付けてみてください」→「(部首の木へん)を付ける」→「松楓公園」言葉遊びだそうです。牛車が置いてあり牛車の乗り方も教えていただきました。



聞かなければ全くわからないことばかりでした。

## くぐり岩

穴をくぐると願い事が叶うといわれるパワースポット。

くぐった方は願い事叶いましたでしょうか？

因みに私は写真を撮ることと狭い穴を潜り抜けることに一生懸命で願い事をすることを忘れておりました。残念。



## 硅灰石（けいかいせき）

水底の石灰岩が花崗岩のマグマに触れ変質したもので国の天然記念物に指定されています。そこでの集合写真です。



さていよいよ国宝の本堂です。

御本尊如意輪観音菩薩は日本で唯一の勅封（勅命によって封印すること。扉に錠をかけて麻縄でしばり、結び目を天皇自署の紙で封じる。開閉には勅使が参向する）。33年に一度、または新天皇即位の翌年にのみ開かれます。令和の時の勅使は三笠宮彬子様だったそうです。

またここで初めて「裏菊花紋」の模様を初めて見ることができ、「なるほどなるほど」でした。

お供えが特徴的で「貼仏供（はりぶっく）」と言われる干菓子を貼り付けたお供え物、それ以外にもキャベツやジャガイモを丸ごとのお供えしてある三宝、細長い紅白の乾燥寒天を串に刺した物など興味深かったです。ここでは写真撮影ははばかられ撮りませんでした。石山寺のHPに詳しく載っていますのでそちらをご覧ください。

### 紫式部と賢子

この人形はこの3月にデビューなので真新しくお召し物も綺麗です。



### 源頼朝の寄進

多宝塔は日本三大多宝塔のひとつで最古最美。最美と言われるにふさわしいと思いました。本尊は快慶作の大日如来（重要文化財）。

鐘楼も頼朝の寄進。石山寺では大みそかではなく元旦午後2時につくそうです。

頼朝は他にも多くの寄進をしており、それは兄（善平）がお世話になったからだと言われています。



多宝塔



鐘楼

豊浄殿では紫式部が実際に使ったという硯を見て、光堂、紫式部像、密蔵院（島崎藤村がしばらく住んだ家）と次々と進みました。

お約束の時間は1時間30分でしたが終わってみれば3時間弱が経っていました。熱心に説明してくださりありがたいことでした。

2時間遅れのお弁当タイム。お昼を過ぎていたからか近くの公園は空いていて、ベンチ付きの藤棚下でゆっくり食べることができました。



今回もお天気に恵まれ、ゆっくりしっぽり楽しいハイキングになりました。

ちなみに私の歩数は約5000歩でした。

皆さま、来年ご一緒できることを楽しみにしています。

新ハイキング担当 山口 紀子